



Flex Signal トラブルシューティング

第 4.14 版

当社に無断で本資料の掲載内容を転載することはご遠慮下さい。

©2013 Flex Signal

はじめに

この度は、Flex Signal をお買い上げいただき、誠に有難うございます。本書は、Flex Signal トラブルシューティングをまとめた資料です。

Flex Signal をご利用中に問題が発生した場合、ご活用頂ければ、早期に問題解決の手助けとなる場合があります。

(*1) WD シリーズの詳細については、株式会社パトライトへお問い合わせ下さい。

改訂履歴

版	日付	改訂内容
1.0	2014年2月24日	初版
1.1	2014年3月28日	項目追加
1.2	2016年7月11日	標準 WEB ポート 80 を使用しない場合の設定追加
2.0	2017年5月25日	標準 WEB ポート 80 を使用しない場合の設定削除
3.0	2018年8月16日	項目追加
4.0	2020年6月1日	よくあるお問い合わせ内容追加
4.1	2021年2月26日	住所・HP リンク削除
4.2	2022年3月7日	「1-2(6) グループが削除できない」の内容を修正 「2-1(1) 電話サポート」電話番号の変更
4.3	2022年3月7日	「1-2(7) 使用ポートについて」追加
4.4	2022年3月17日	「1-1(9) 稼動状況グラフのトータルが100%を超えてしまう」追記
4.5	2022年3月31日	「1-1(5) 信号灯の設定をしたのにデータが表示されない」項目追記
4.6	2022年4月19日	「1-2(8) 送信機変更時の過去データの引継ぎについて」
4.7	2022年4月20日	「1-2(9) データが設備の状態とずれる場合について(消灯を繰り返す)」追加
4.8	2022年5月13日	「1-1(5) 信号灯の設定をしたのにデータが表示されない」項目追加 「2-2 バックアップ取得方法」メール送付サービスのコメント欄にメールアドレスを記載いただく文面追加
4.9	2022年5月19日	「1-1(5) 信号灯の設定をしたのにデータが表示されない」項目追加 「1-2(10) FS Start が自動で起動しない」追加
4.10	2022年5月24日	「1-2(11) Flex Signal を停止したい」追加 「1-2(12) Flex Signal を起動したい」追加
4.11	2022年5月31日	「1-1(5) 信号灯の設定をしたのにデータが表示されない」⑨ に FSFileCtrl を追加
4.12	2022年7月1日	「1-2(13) 構成色に複数の信号灯色を設定したい」追加

4.13	2022年12月1日	「1-1(10) 通信状況確認画面にて「接続した送信機の数 がライセンス数を超えています。」と表示される」追加
4.14	2023年8月30日	「1-2(13) ファイルへのアクセスが拒否される」追加

目次

1. お問い合わせ内容と確認ポイント.....	7
1-1. セットアップに関するお問合せ.....	7
(1) インストール画面の「次へ」が押せない.....	7
(2) セットアップ完了画面が出てこない.....	7
(3) インストール完了したのにデータが出てこない.....	7
(4) 認証に失敗する.....	8
(5) 信号灯の設定をしたのにデータが表示されない.....	8
(6) 他の PC から FlexSignal を見たい.....	11
(7) HTTP エラーが表示される.....	11
(8) 信号灯設定にて識別 ID の一覧が表示されない.....	12
(9) 稼働状況グラフのトータルが 100%を超えてしまう.....	13
(10) 通信状況確認画面にて「接続した送信機の数ライセンス数を超過しています。」と表示される.....	14
1-2. 運用に関するお問合せ.....	16
(1) データが取得されない.....	16
(2) 稼働時間が表示されない.....	16
(3) 全体モニター画面の設備の枠内にデータが表示されない.....	17
(4) 生産数がカウントされない.....	17
(5) 点滅信号が点灯/消灯として判断されてしまう.....	18
(6) グループが削除できない.....	18
(7) 使用ポートについて.....	18
(8) 送信機変更時の過去データの引継ぎについて.....	19
(9) データが設備の状態とずれる場合について(消灯を繰り返す).....	19

(1 0) FS Start が自動で起動しない	20
(1 1) Flex Signal を停止したい.....	20
(1 2) Flex Signal を起動したい.....	21
(1 3) 構成色に複数の信号灯色を設定したい.....	22
(1 4) ファイルへのアクセスが拒否される.....	23
2. お問い合わせ方法	36
2-1. サポート連絡先	36
(1) 電話サポート	36
(2) メールサポート.....	36
2-2. バックアップ取得方法	37

1. お問い合わせ内容と確認ポイント

1-1. セットアップに関するお問合せ

(1) インストール画面の「次へ」が押せない

IIS の設定項目が足りていない可能性があります。

- ① IIS の設定項目を確認してください。

(2) セットアップ完了画面が出てこない

インストール途中に起動する「FlexSignal 受信機通信設定ツール」が起動したままの可能性もあります。

- ① FlexSignal 受信機通信設定ツールが起動していないことを確認してください。起動していた場合、「×」と選択し設定ツールを閉じてください。

(3) インストール完了したのにデータが出てこない

信号灯が設定されていない可能性があります。

- ① 別冊「Flex Signal 取扱説明書」の「個別信号灯設定」を参考に信号灯を設定してください。

(4) 認証に失敗する

- ① ライセンス証書のカスタマーキーと FlexSignal のヘルプ画面のカスタマーキーに相違がないことを確認してください。
- ② メールにてお送り頂いたカスタマーキー・セットアップキーと FlexSignal のヘルプ画面のカスタマーキー・セットアップキーに相違がないことを確認してください。
- ③ インストールした PC のネットワークが切断されていないことを確認してください。

(5) 信号灯の設定をしたのにデータが表示されない

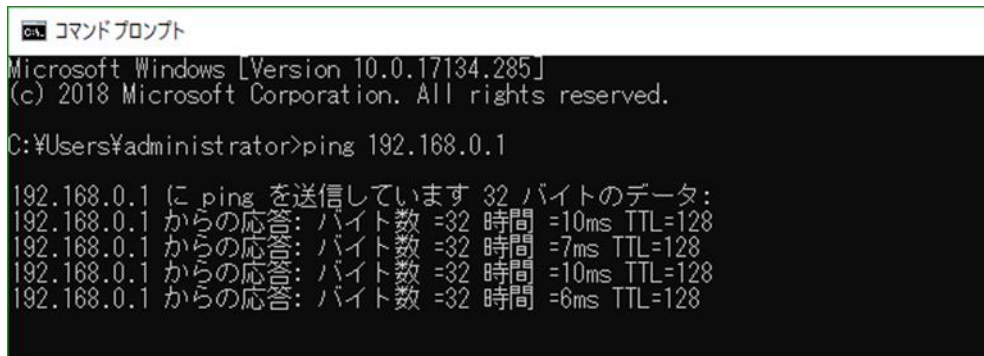
受信機とインストールした PC が通信できていない可能性があります。

- ① 受信機とインストールした PC の接続方法が LAN 接続になっていることを確認してください。※USB 接続は対応しておりません。
- ② インストールした PC から受信機へ ping が通るかご確認ください。

<確認方法>

1. スタートメニュー → 「プログラムとファイルの検索」に「cmd」と入力し、コマンドプロンプトを起動してください。
2. コマンドプロンプトに「ping 受信機 IP アドレス」を入力し Enter キーをクリックしてください。（例：ping 192.168.0.1）

3. 受信機 IP アドレスからの応答が下図のように正常ではなく「要求がタイムアウトしました。」のようなエラーが表示される場合、通信環境をご確認ください。



```
コマンドプロンプト
Microsoft Windows [Version 10.0.17134.285]
(c) 2018 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\administrator>ping 192.168.0.1

192.168.0.1 に ping を送信しています 32 バイトのデータ:
192.168.0.1 からの応答: バイト数 =32 時間 =10ms TTL=128
192.168.0.1 からの応答: バイト数 =32 時間 =7ms TTL=128
192.168.0.1 からの応答: バイト数 =32 時間 =10ms TTL=128
192.168.0.1 からの応答: バイト数 =32 時間 =6ms TTL=128
```

- ③ 「MENU」 — 「共通」 — 「ヘルプ」画面の受信機状態をご確認ください。

受信機の状態が「未接続」「切断」の場合は受信機との状態をご確認ください。

(※標準 FlexSignal ver.7.0.0 以上で使用可能な機能です。ver7.0.0 より前のバージョンではヘルプ画面から受信機状態を確認することはできません。)

- ④ 接続した LAN に対して IP アドレスが設定されていることを確認してください。

- ⑤ パトライト様のアプリ (WIN-01) 等が起動していないことを確認してください。

- ⑥ 受信機のポート番号の設定を変更していないことを確認してください。

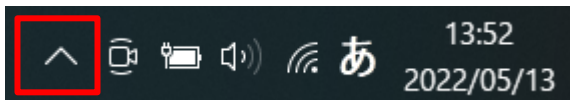
- ⑦ 信号灯個別設定の「識別 ID」は手入力ではなく、選択ボタンより表示された対象設備の送信機 MAC アドレスを選択してください。

- ⑧ 対象設備の電源が ON になっていることを確認してください。

⑨ Flex Signal のアプリが起動していることを確認してください。

<確認方法>

1. FlexSignal をインストールした PC の画面右下にある上三角形のマークをクリックしてください。



2. 表示された枠の中に、下表のアイコンがしばらく経っても消えなければ起動しています。

アイコン	名前	備考
	FlexDevice	-
	FSDataCtrl	-
	FSBroadcaster	-
	FSAutoCsv	標準 FlexSignal ver5.0.0 以上の場合のみ
	FSRecording	FSCamera をインストールしている場合のみ
	FSWatch	FSWatch をインストールしている場合のみ
	FSFileCtrl	FSFile をインストールしている場合のみ

⑩ 受信機の電源を入れ直してください。

⑪ PC を再起動し、FS Start が自動的に起動し数分後自動的に閉じることをご確認ください。
さい。

<自動的に FS Start が立ち上がらない場合>

→ 「1-2(10) FS Start が自動で起動しない」をご確認ください。

(6) 他の PC から FlexSignal を見たい

① FlexSignal をインストールした PC と同一のネットワークにある別 PC から、

「[http:// IP アドレス/FS](http://IPアドレス/FS)」にアクセスして下さい。※IP アドレスには、FlexSignal をインストールした PC の IP アドレスを入力してください。例

「<http://192.168.0.10/FS>」

(7) HTTP エラーが表示される

エラー種別によって対応方法が異なります。

・ HTTP Error 500.21 ⇒ コマンドの入力が必要です。

① スタートメニュー → 「プログラムとファイルの検索」に「cmd」と入力し、コマンドプロンプトを起動してください。

② コマンドプロンプトにて下記コマンドを入力し、Enter キーを押下して下さい。

インストール PC が 32 ビットの場合のコマンド

```
C:\Windows\Microsoft.NET\Framework\v4.0.30319\aspnet_regiis -i
```

インストール PC が 64 ビットの場合のコマンド

```
C:\Windows\Microsoft.NET\Framework64\v4.0.30319\aspnet_regiis -i
```

- ③ 「ASP.NET (4.0.30319) のインストールが完了しました」と表示されましたら完了です。コマンドプロンプトを閉じて頂き、再度 FlexSignal の画面を表示して、ご確認ください。

- ・ HTTP Error 500.19 ⇒ ASP.NET4.7 にチェックが入っていない可能性があります。IIS の設定を再度ご確認ください。

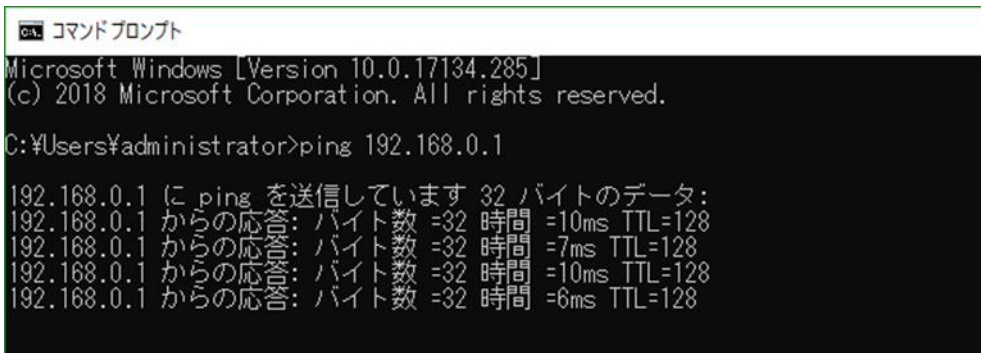
(8) 信号灯設定にて識別 ID の一覧が表示されない

パソコンと受信機の通信環境がご用意されていない可能性があります。

- ① FlexSignal にて受信機の IP アドレスを登録していることを確認してください。※受信機の IP アドレスの確認・追加・変更について「FlexSignal 受信機通信設定手順書」をご確認ください。
- ② スタートメニュー → 「プログラムとファイルの検索」に「cmd」と入力し、コマンドプロンプトを起動してください。

③ コマンドプロンプトに「ping 受信機 IP アドレス」を入力し Enter キーをクリックしてください。（例：ping 192.168.0.1）

④ 受信機 IP アドレスからの応答が下図のように正常ではなく「要求がタイムアウトしました。」のようなエラーが表示される場合、通信環境をご確認ください。



```
コマンドプロンプト
Microsoft Windows [Version 10.0.17134.285]
(c) 2018 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users¥administrator>ping 192.168.0.1

192.168.0.1 に ping を送信しています 32 バイトのデータ:
192.168.0.1 からの応答: バイト数 =32 時間 =10ms TTL=128
192.168.0.1 からの応答: バイト数 =32 時間 =7ms TTL=128
192.168.0.1 からの応答: バイト数 =32 時間 =10ms TTL=128
192.168.0.1 からの応答: バイト数 =32 時間 =6ms TTL=128
```

(9) 稼動状況グラフのトータルが 100%を超えてしまう

分母となる監視時間が各構成色の合計時間より少ない可能性があります。

- ① 信号灯設定の「監視灯」項目に何色かのチェックが入っているかどうかご確認ください。入っている場合、入っていない色の点灯または点滅時間が監視時間に含まれないため 100%を超える原因となります。
- ② 信号灯設定の「監視灯」項目に固定で設定されている監視時間をご確認ください。予定以上の点灯または点滅時間が発生している場合 100%を超える原因となります。

③ 基本設定において、休憩時間の「信号情報有無」の「有効にする」にチェックを入れている場合、監視時間からは休憩時間が引かれますが、各構成色時間からは休憩時間が引かれないため、100%を超える原因となります。

休憩時間中も監視時間と各構成色時間の集計を行いたい場合、その休憩時間帯を休憩時間に設定しないことを推奨します。

(1 0) 通信状況確認画面にて「接続した送信機の数ライセンス数を超えています。」と表示される

FlexSignal と接続しているすべての受信機と通信している送信機の数ライセンス数以上でないかご確認ください。

接続している送信機の数ライセンス数を超えている場合、下記のいずれかの対応を行い、接続している送信機の数ライセンス数を超えないよう設定をお願いいたします。

- 使用しない送信機の電源を OFF にしてください。
- パトライト様製品の送信機・受信機に PANID を設定し、使用しない送信機を受信機と接続しないようにしてください。

※PANID の設定については、パトライト様にお問い合わせください。

【ライセンス数の確認方法】

[MENU] – [共通] – [ヘルプ]のシステム情報画面より、ライセンス欄のボリュームをご確認ください

さい

1-2. 運用に関するお問合せ

(1) データが取得されない

「1-1(5) 信号灯の設定をしたのにデータが表示されない」場合を先にご確認ください。

- ① インストールした PC がスリープ等パソコンが停止するような設定（省電力モードや自動ログアウト）になっていないことを確認してください。
- ② 管理者権限ありのユーザーでログインしていることを確認してください。
- ③ インストールした PC のネットワークが切断されていないことを確認してください。

(2) 稼働時間が表示されない

稼働灯が設定されていない可能性があります。

- ① 信号灯個別設定より、稼働灯として使用する構成色の「稼働灯」にチェックが入っていることを確認してください。

(3) 全体モニター画面の設備の枠内にデータが表示されない

信号灯の設定がされていない可能性があります。

- ① 信号灯個別設定より、「有効/無効」にチェックが入っていることを確認してください。
- ② 信号灯個別設定より、「モニター表示項目」の項目と表示名称が設定されていることを確認してください。

(4) 生産数がカウントされない

送信機タイプ：WD シリーズ、WD-Z2 シリーズ

- ① パトライト社製の設定ツールを使用し、送信機の設定にて簡易カウント機能が「使用する」になっていることを確認してください。※白色は通常電源供給ラインとして使用をお勧めします。

送信機タイプ：WD-LR シリーズ

- ① 信号灯個別設定より、「カウント」にチェックが入っていることを確認してください。※カウントに使用する信号灯色はカウント専用となるため、構成色にて収集されなくなるため、構成色に使用しない色を選択して下さい。

(5) 点滅信号が点灯／消灯として判断されてしまう

送信機の周期データの設定が合っていない可能性があります。

- ① パトライト社製の設定ツールを使用し、点滅判断設定を変更してください。※点滅あり標準（～0.7秒以下）を中速（～1.5秒以下）または低速（～2.5秒以下）に変更してください。

(6) グループが削除できない

ver11 以前は、グループは1度追加されると削除できません。

ver12 以降はグループを削除する機能があります。

(7) 使用ポートについて

- ① Flex Signal で使用するポート

ポート番号	TCP/UDP	From	To	内容
10001	TCP	PC	受信機	受信機との通信に使用します。
61001	TCP	LA6-POE	PC	LA6-POE との通信に使用します。 ※LA6-POE 使用時のみ使用します。
10000	TCP	PC	LA6-POE	LA6-POE 使用時のみ使用します。
80	TCP	クライアント PC	PC	WEB 画面の閲覧に使用します。
(25/587)	TCP	PC	メールサーバ	メール送信に使用します。 ※メールサーバのポート番号

② オプション[FS-Camera]で使用するポート

ポート番号	TCP/UDP	From	To	内容
80	TCP	PC	カメラ	映像の閲覧に使用します。
445	TCP	カメラ	PC	映像データの保存に使用します。

(8) 送信機変更時の過去データの引継ぎについて

「C:¥FS¥Data」にある古い送信機の MAC アドレスのフォルダ内にある全てのファイルを

「C:¥FS¥Data」にある新しい送信機の MAC アドレスのフォルダ内にコピーしてください。

その後、信号灯設定画面にて対象の信号灯の識別 ID を新しい送信機の MAC アドレスに変更していただければ、過去のデータも閲覧可能となります。

(9) データが設備の状態とずれる場合について(消灯を繰り返す)

複数の受信機をお使いの場合、送信機がやり取りする受信機を固定していない可能性があります。

①パトライト社製の設定ツールを使用し、送信機の設定にて特定の受信機としかやり取りを行わないように設定してください。(PanID の設定)

②インストールした PC を再起動してください。

(1 0) FS Start が自動で起動しない

- ① Flex Signal をインストールしたときと同じユーザーで PC にログインしているかご確認してください。
- ② Windows のスタートアップに FS Start が存在するかご確認してください。

<確認方法>

1. 「Windows キー」 + 「R」を押下してください。
2. 左下に「ファイル名を指定して実行」というウィンドウが開いたら、名前の欄に「shell:startup」と入力し、「OK」を押下してください。
3. 表示されたフォルダ内に「FS Start」が存在するか確認してください。

(1 1) Flex Signal を停止したい

- ① PC 画面左下にある虫眼鏡マークの横の「ここに入力して検索」の部分に「fsend」と入力してください。
- ② 検索一覧に表示された FS End アプリを選択してください。

※FS End アプリが一覧に表示されない場合、「C:¥FS¥System¥FSEnd.exe」を起動してください。
- ③ FS End アプリが起動し、数分後自動的に閉じることをご確認ください。

(1 2) Flex Signal を起動したい

① PC 画面左下にある虫眼鏡マークの横の「ここに入力して検索」の部分に「fsstart」と入力してください。

② 検索一覧に表示された FS Start アプリを選択してください。

※FS Start アプリが一覧に表示されない場合、「C:¥FS¥System¥FSStart.exe」を起動してください。

③ FS Start アプリが起動し、数分後自動的に閉じることをご確認ください。

(1 3) 構成色に複数の信号灯色を設定したい

構成色は No.1 から順に判定を行い、当てはまったものを状態とします。

そのため、より複数の信号灯色を設定する構成色を若い番号に設定してください。

(例) 複数の信号灯色を設定した構成色と判定されない場合

下図のような構成色の設定においては、赤と黄が同時に点灯した場合、優先順位の高い「赤点灯（構成色 No.1）」と判定されます。

信号灯動作設定		表示設定										
No	管理名称	赤	黄	緑	青	白	閃	表示色	強調表示	経過時間	稼働灯	異常灯
1	赤点灯	点灯						RED	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	黄点灯		点灯					YEL	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	赤点灯+黄点灯	点灯	点灯					CRL	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4									<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(例) 複数の信号灯色を設定した構成色と判定される場合

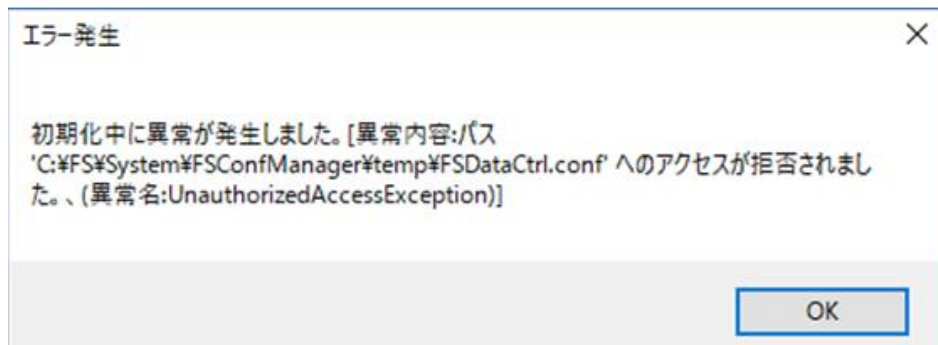
下図のような構成色の設定においては、赤と黄が同時に点灯した場合、優先順位の高い「赤点灯+黄点灯（構成色 No.1）」と判定されます。

信号灯動作設定		表示設定										
No	管理名称	赤	黄	緑	青	白	閃	表示色	強調表示	経過時間	稼働灯	異常灯
1	赤点灯+黄点灯	点灯	点灯					CRL	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	赤点灯	点灯						RED	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	黄点灯		点灯					YEL	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4									<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(14) ファイルへのアクセスが拒否される

下図のような「〇〇〇〇へのアクセスが拒否されました。」と表示される場合は、

FlexSignal を動作させるために必要な権限が不足している可能性があります。



下記の手順に沿って FlexSignal の動作に必要な権限を付与してください。

1. C:\FS フォルダに「1-1.C:\FS フォルダ内の権限」に記載されている権限ユーザーに必要な権限を与えてください。

1-1.C:\FS フォルダ内の権限

パス	権限ユーザー	必要な権限
C:\FS 内の全てのフォルダ、ファイル ※C:\FS フォルダの権限を変更すれば、 C:\FS フォルダ内のすべてのフォルダ、 ファイルの権限も変更されます	Authenticated Users	「変更」、「読み取りと実行」、 「フォルダーの内容の一覧表示」、 「読み取り」、「書き込み」
	Administrators	「フルコントロール」、「変更」、 「読み取りと実行」、 「フォルダーの内容の一覧表示」、 「読み取り」、「書き込み」
	Users	「読み取りと実行」、 「フォルダーの内容の一覧表示」、 「読み取り」

2. 「1-2.別途権限の追加が必要なフォルダ、ファイル」に記載しているパスにあるフォルダおよびファイルに必要な権限を与えてください。

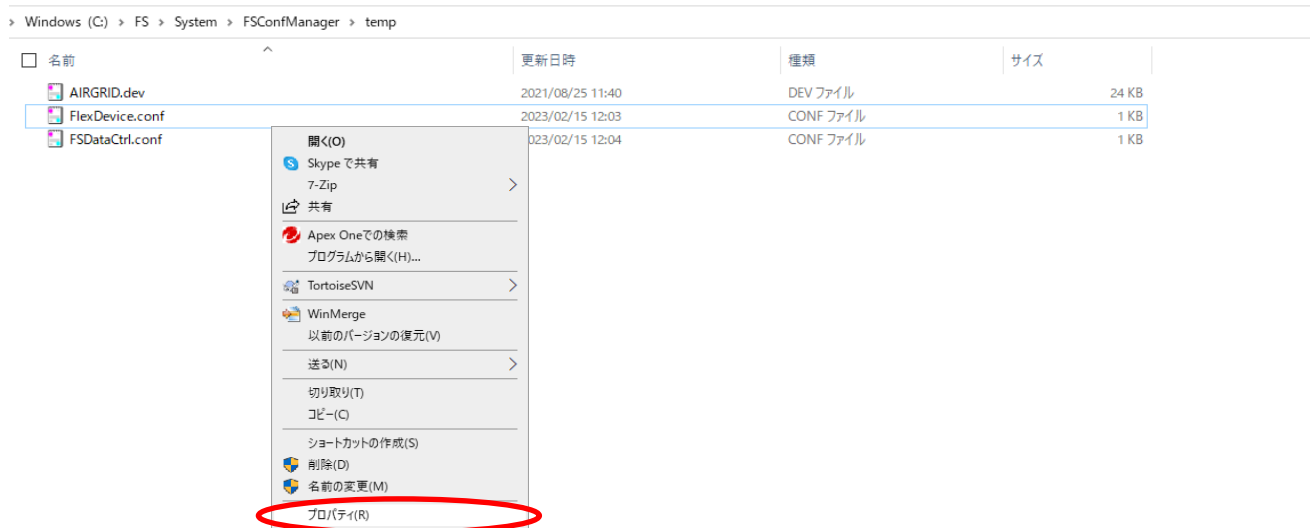
1-2.別途権限の追加が必要なフォルダ、ファイル

パス	権限ユーザー	必要な権限
C:\FS\Data	IIS_IUSER	「フルコントロール」 「変更」 「読み取りと実行」 「フォルダーの内容の一覧表示」 「読み取り」 「書き込み」
C:\FS\DEngine\FSBroadcaster\PatliteCtrl.exe	IIS_IUSER	「読み取りと実行」 「読み取り」
C:\FS\DEngine\FSBroadcaster\PatliteCtrlHttp.exe	IIS_IUSER	「読み取りと実行」 「読み取り」
C:\FS\DEngine\FSBroadcaster\MailSender.exe	IIS_IUSER	「読み取りと実行」 「読み取り」
C:\FS\Menu	IIS_IUSER	「フルコントロール」 「変更」 「読み取りと実行」 「フォルダーの内容の一覧表示」 「読み取り」 「書き込み」

C:\FS\MonitorService	IIS_IUSER	「フルコントロール」 「変更」 「読み取りと実行」 「フォルダーの内容の一覧表示」 「読み取り」 「書き込み」
C:\FS\FSLicense.conf	IIS_IUSER	「変更」 「読み取りと実行」 「読み取り」 「書き込み」

権限の確認方法(例)

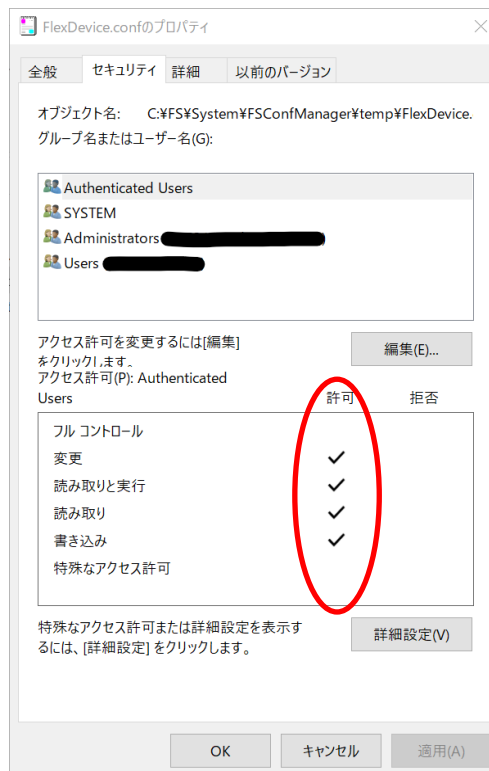
1. 対象ファイルを右クリックしてください。
2. プロパティを選択してください



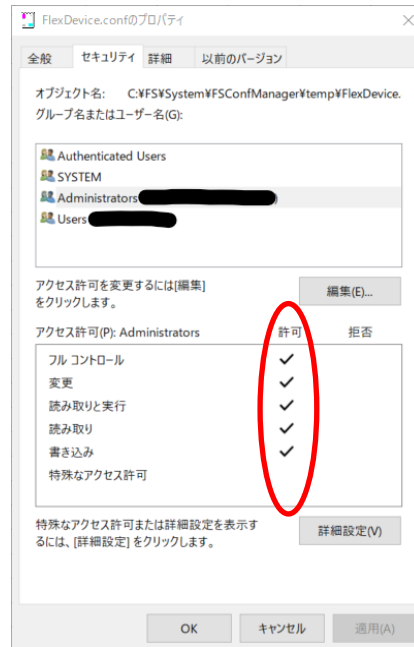
3.セキュリティを選択してください



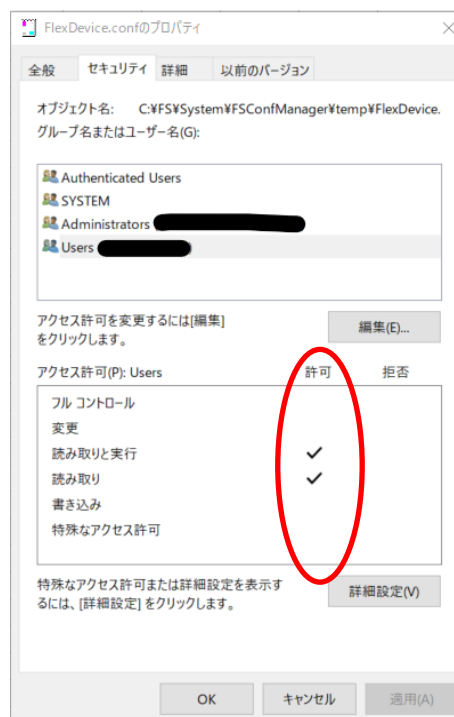
4. 「Authenticated Users」の「変更」「読み取りと実行」「読み取り」「書き込み」の許可にチェックが入っているかをご確認ください。



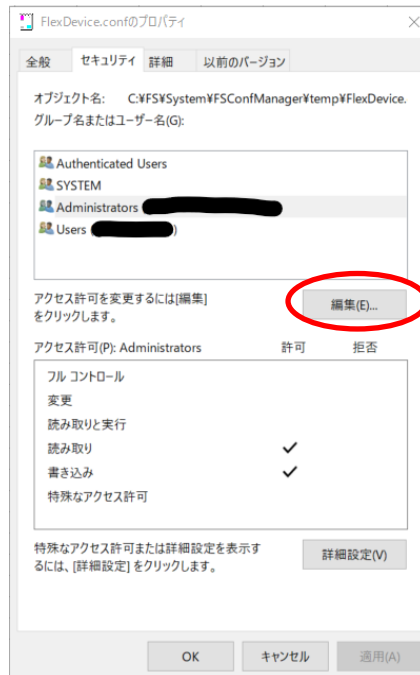
5. 「Administrators」の「フルコントロール」「変更」「読み取りと実行」「読み取り」「書き込み」の許可にチェックが入っているかをご確認ください。



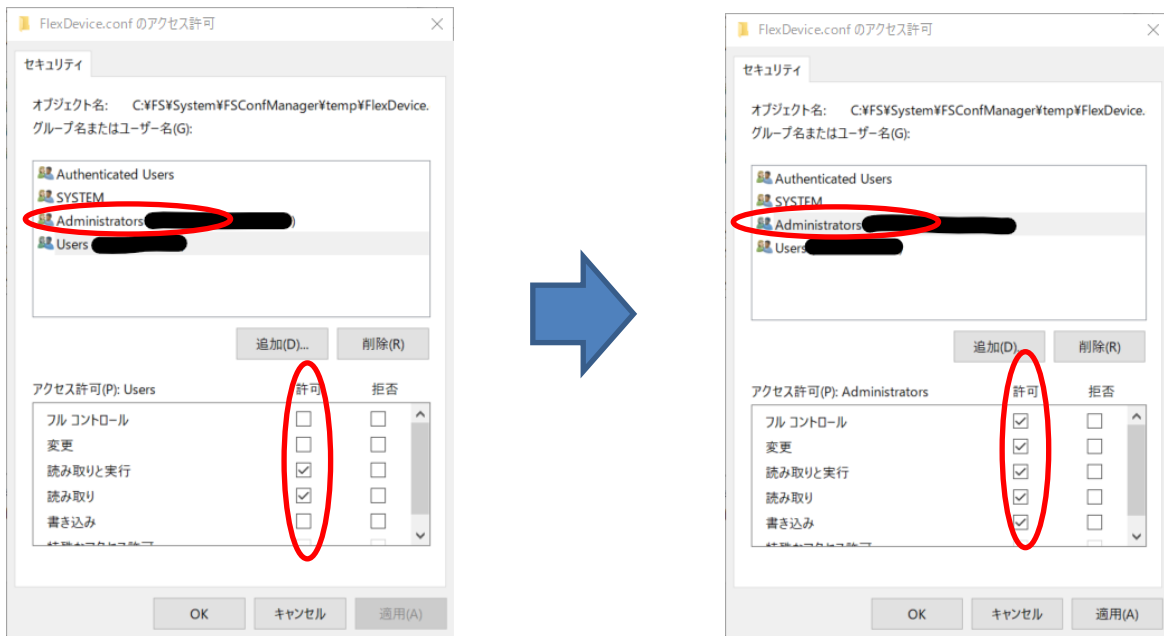
6. 「Users」の「読み取りと実行」「読み取り」の許可にチェックが入っているかをご確認ください。



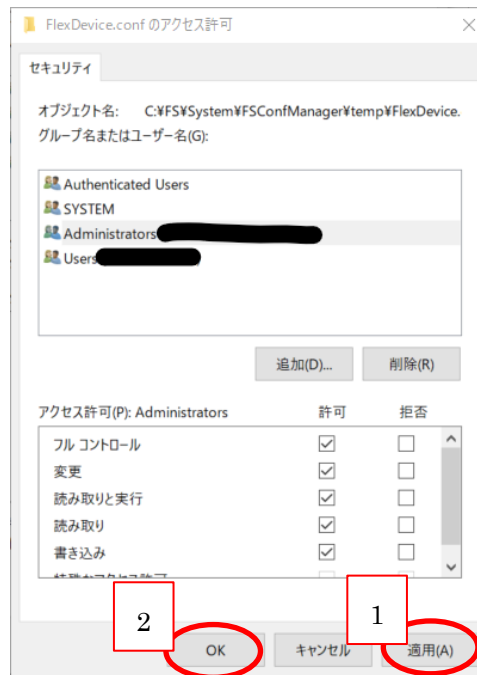
7. もし必要な権限に許可が入っていない場合は編集を選択してください。



8. 必要な権限に許可をしてください

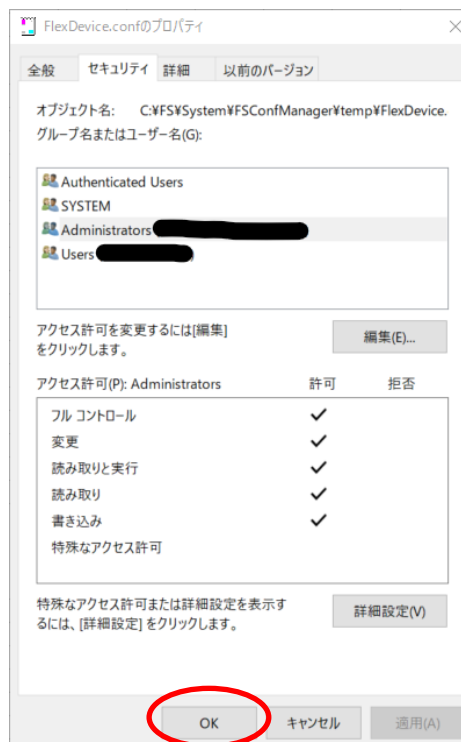


9.適用を選択してください。その後、OK を選択してください。



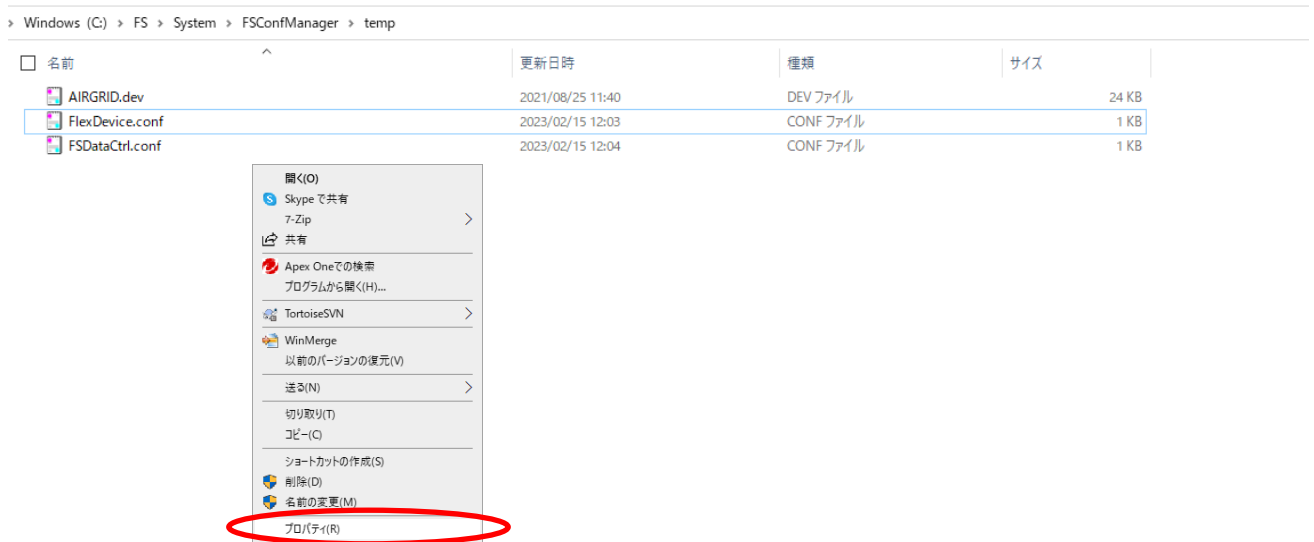
10. 権限が追加されたことを確認しましたら、権限の変更手順は終了です。

OK を選択して終了してください。



権限ユーザー追加方法(例)

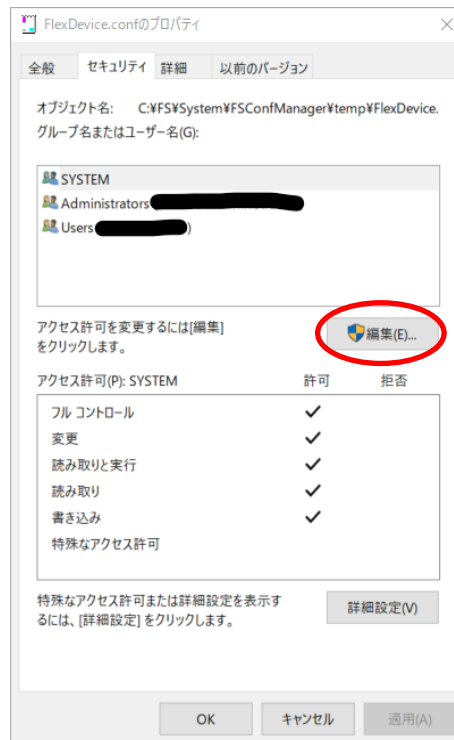
1. 対象ファイルを右クリックしてください。
2. プロパティを選択してください



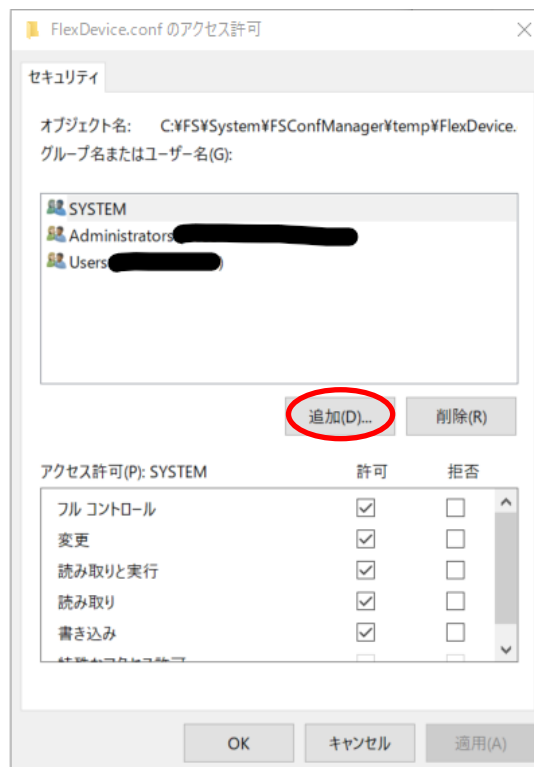
3. セキュリティを選択してください



4. 編集を選択してください



5. 追加を選択してください



6. 詳細設定を選択してください

ユーザー または グループ の選択

オブジェクトの種類の選択(S):
ユーザー、グループまたはビルトインセキュリティプリンシパル オブジェクトの種類(O)...

場所の指定(F):
[Redacted] 場所(L)...

選択するオブジェクト名を入力してください (E):
[Empty field] 名前の確認(C)

詳細設定(A) OK キャンセル

7. 検索を選択してください

ユーザー または グループ の選択

オブジェクトの種類の選択(S):
ユーザー、グループまたはビルトインセキュリティプリンシパル オブジェクトの種類(O)...

場所の指定(F):
[Redacted] 場所(L)...

共通クエリ

名前(A): 次の文字で始まる [Empty field] 列(C)...

説明(D): 次の文字で始まる [Empty field] **検索(N)**

無効になっているアカウント(B)

無期限のパスワード(X)

前回ログイン時からの日数(I): [Empty field]

中止(T)

検索結果(U): OK キャンセル

名前	フォルダー
----	-------

8. 検索結果から対象のユーザー名を選択してください。

ユーザーまたはグループの選択

オブジェクトの種類の選択(S):
ユーザー、グループまたはビルトインセキュリティプリンシパル

場所の指定(F):
場所(L)...

共通クエリ

名前(A): 次の文字で始まる

説明(D): 次の文字で始まる

無効になっているアカウント(B)

無期限のパスワード(X)

前回ログイン時からの日数(I):

検索結果(U):

名前	フォルダー
Access Control Assistance Operators	
Administrator	
Administrators	
ALL APPLICATION PACKAGES	
ANONYMOUS LOGON	
Authenticated Users	
Backup Operators	
BATCH	
CONSOLE LOGON	

OK キャンセル

9. OK を選択してください

ユーザーまたはグループの選択

オブジェクトの種類の選択(S):
ユーザー、グループまたはビルトインセキュリティプリンシパル

場所の指定(F):
場所(L)...

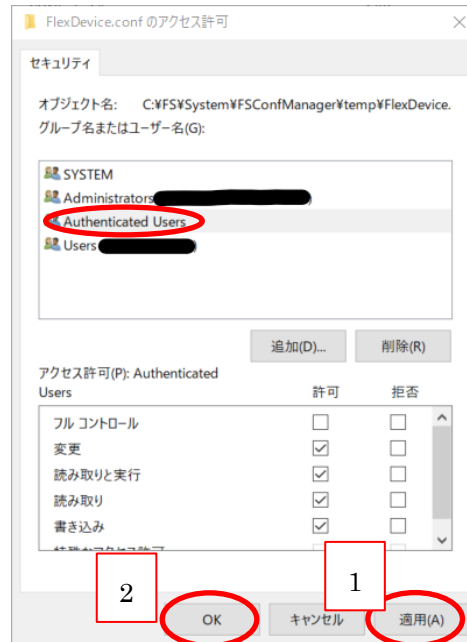
選択するオブジェクト名を入力してください (例)(E):
Authenticated Users

名前(C)の確認(C)

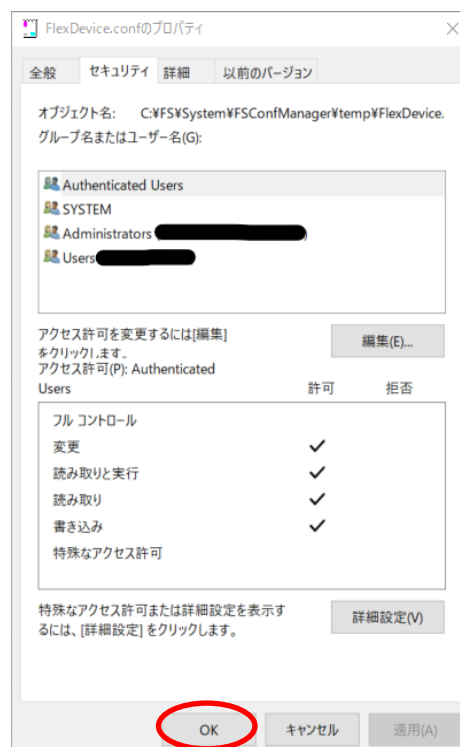
詳細設定(A)...

OK キャンセル

10. 選択したユーザーが追加されますので、必要な権限にチェックを入れていただき、適用を選択してください。その後、OK を選択してください。



11. 選択したユーザーが追加されたことを確認したら、ユーザーの追加手順は終了です。OK を選択して終了してください。



2. お問い合わせ方法

2-1. サポート連絡先

(1) 電話サポート

東海ソフト株式会社 FlexSignal 電話サポート担当

TEL : 052-300-8141

9 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0 (弊社営業日)

(2) メールサポート

東海ソフト株式会社 FlexSignal サポート担当

Mail : flexsignal@tokai-soft.co.jp

9 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0 (弊社営業日)

2-2. バックアップ取得方法

1. スタートメニューから「FlexSignal」→「System」の中にある「FS Backup」をクリックし、起動してください。
2. 画面が起動し、しばらくすると画面が自動的に消えます。画面が消えた後、「C:\¥FSBackup」というフォルダ内にある「日付_fsbak.zip」（日付にはバックアップを取得した日時が入ります。）というファイルを送付してください。※データ量により数時間かかる場合があります。

取得頂いたバックアップファイルは容量が大きいため、弊社のメール送付サービスをご利用ください。

メール送付サービス URL : <https://www.tokaisoft.com/tfts/>

ログイン用アカウント : flexsignal@tokai-soft.co.jp

ログイン用パスワード : B2frewfL

URL にアクセス頂き、上記アカウントでログイン後送付先に「flexsignal@tokai-soft.co.jp」を入力して下さい。バックアップファイルを選択し、メッセージ欄にお名前・メールアドレス・お問い合わせ内容をご記入頂き「確認画面へ」ボタンを押下して確認画面より送信をお願い致します。

※メール送付サービスには100MBでの制限があるため、100MB以上になってしまう場合は、別途ご連絡下さい。

